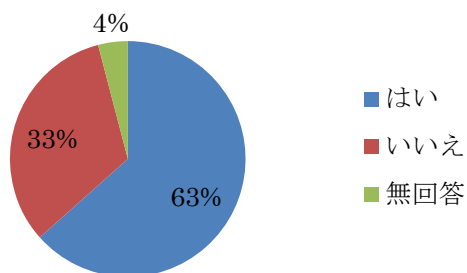


「認知症予防ファシリテーター®勉強会」アンケート結果

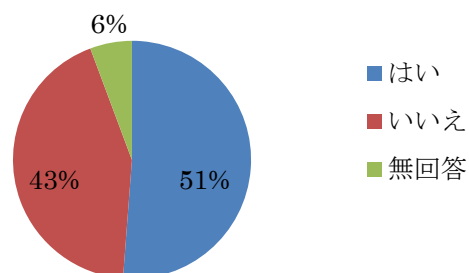
2017 年 8 月実施

認知症予防ファシリテーター®資格取得者 391 名に郵送し、122 名回答

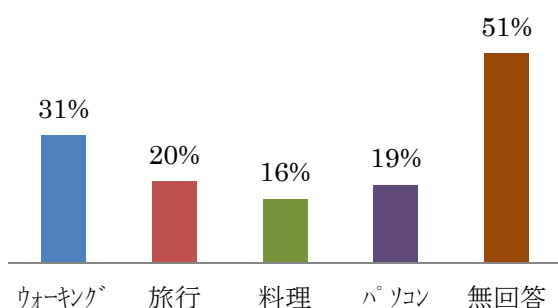
Q1. 認知症予防ファシリテーターの資格が何かの事業や活動に活かされていますか？



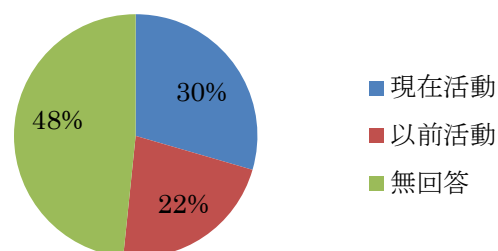
Q2. 認知症予防ファシリテーターとして活動されたことがありますか？



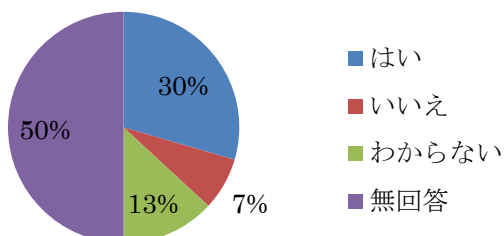
Q2-1-1. グループ活動の内容（地域型認知症予防プログラム）について



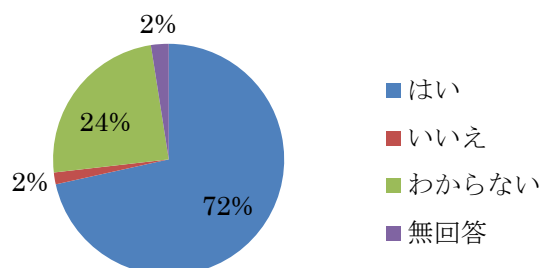
Q2-1-2. 認知症予防ファシリテーターの経験について



Q2-1-3. あなたの担当したグループは自主活動を継続していますか？



Q3. 今後ファシリテーターをやりたいと思いますか？



◆ ファシリテーターをやってみてよかったこと

1	楽しそうに自主活動をされていたのを見たときは、少しは自分の活動が役に立ったと感じた
2	皆さんのアイデアでいきいきと活動されているのはとてもやりがいを感じた
3	最初は見守り姿勢だったので動けない分少しストレスを感じたが、結果的に本人たちの自主性が出るためグループ化しやすかった
4	グループのチームワークができてくると見ているとよかったなあと思う
5	回を重ねるごとにグループの関係性が変化することが見えた点がよかった
6	同じファシリテーターに相談してアドバイスをもらって楽しく活動ができた
7	世の中にはいろいろな人がいるものだということがわかった
8	思わず口を出しアドバイスしたいときもあったが回を重ねていく中で見守る大切さを実感した
9	多くの自主グループができたこと
10	参加者が言い争いになった時どういう対応をしたらよいかわからなかったが、結果的には見守っている間に参加者の中で解決した
11	シニア世代同士でのコミュニティとして取り組めることがよい
12	パソコンを何度も同じ操作をしているがパソコンを嫌いになっていない。 活動している方が自由にのびのびと会話するのでかえってこっちがいろいろな情報をもらえる
13	地域高齢者の交流や脳トレの教室での楽しみになっていることへ貢献
14	ファシリテーターの資格を取ったことで継続して地域貢献ができています
15	住民のつながりが何かしらの形で継続されていること
16	ひとり親家庭の親あるいは子供の相談に乗ることが多く、役に立っている
17	一生の友人ができた感謝された
18	自己啓発につながった
19	人とのつながりが増えたこと
20	ファシリテーターとしての立場で、メンバーの方々とお付き合いをしていく距離感を知った時は勉強になった
21	ファシリテーター自身も友達が増え勉強になった

◆ ファシリテーターをやってみて大変だったこと

1	メンバーにプログラムの目的がうまく伝えられなかった時は大変だった
2	パソコンを通じてできたグループの場合、パソコン活動で自主化するのがなかなか困難ではと感じた
3	リーダー的な人を探すのが大変だった
4	グループの自主化はハードルが高い意見が多く今後の課題だ
5	自主活動として継続させる事
6	参加者の方々に自分たちで気づいて活動していただくことが難しかったが
7	メンバーの強い個性が出ることでグループ全体の意欲低下があったことが残念だった
8	一人のリーダーが他を引っ張っていく形になってしまった
9	男性同士がげんかになり、一人辞められた時ファシリテーターとして何もできなかった
10	個人的には話しやすくてもグループにいるとなかなかなじめない人がいた
11	信頼関係が確立されないとコミュニケーションが途絶えること
12	メンバー同士で教え合う、自分たちで意見を出し意思決定してもらい難しさを感じた
13	プログラムをやっている間は楽しそうに出席されるが場所の問題やリーダーが不足している点がむずかしい
14	どこまで介入していいか悩んだ

◆ その他

1	思っていた内容と違うからとの理由で辞める人がいる
2	プログラムを理解して参加してもらうこと
3	事業への参加のみで認知症予防になるわけではなく年単位の継続が必要であることを理解していただくこと
4	企業を通しての仕事のためその後の活動状況がわからない
5	考えていたほど仕事がない